令和５年度　乙部町立乙部小学校　学校だより　令和５年12月25日　No.9

乙小物語

学校の教育目標　〇よく学ぶ子（学び合い）〇たすけあう子（笑顔）〇からだをきたえる子（習慣）
重点教育目標　わかる、できる、つかえる子どもの育成

〒043-0103　爾志郡乙部町字緑町641番地1　　TEL0139-62-2021

『 年の瀬を迎えて ～「今年の漢字」から～ 』

乙部町立乙部小学校長　笠　松　靖　史

昨年度も掲載しましたが、その年の世相を漢字１文字で表す「今年の漢字」が、今年も１２月１２日の漢字の日に、清水寺（京都府京都市）で発表されました。公募で集まった約１４万７８７８票から最も多かった漢字が選定された２０２３年の漢字は「税」が選ばれました。「税」が選ばれるのは「今年の漢字」が始まってからは、消費税率が５％から８％に引き上げられた２０１４年以来２度目です。今年選定された背景として最も大きな要因は、一年を通じて増「税」議論が活発に行われたことや、所得「税」・住民「税」の定額減「税」、インボイス制度やふるさと納「税」など、「税」にまつわる話題が多かったことが挙げられます。過去選定された「金」「愛」「絆」といった漢字と比較すると、大人にとっては実感の伴う一文字ですが、子ども目線で考えると何となく感性に響いてきません。

本校での令和５年は、「税」のイメージとはもちろん異なり「共」の漢字を当てたいと考えます。一人一人の子どもたちが６月初夏の晴天の下、仲間と「共に」成功に導こうと笑顔で競った運動会や今年もトリを見事に飾った伝統のマーチング。１０月、練習時から仲間と「共に」切磋琢磨し、本番では、仲間と「共に」自分らしさを精一杯表現した学習発表会。そして、ペアやグループで、仲間と「共に」対話し、考えを「共有」しながら課題を解決してきた数々の授業。様々な場面で一人一人がしっかりと「輝いて」いました。私たち教師も今後さらに、子どもにしっかり寄り添いながら、授業力や生徒指導力、人間性をさらに向上させ、子どもたちが一層「輝く」学校づくりに尽力したいと思います。

７月と１２月に実施した児童アンケート・保護者アンケートでは、肯定的な評価が数字上は多かったという結果に少しは安堵を感じながらも、少数であろうと否定的な回答をしっかり受け止め、日常の翌日準備・一時間一時間の実践を振り返り、原因の解明に「想像力」をしっかりと膨らませなければなりません。子どもの安心・保護者の信頼を得ることのできる学校づくりを一歩一歩確実に推し進めるために、今年も「誠実」と「謙虚」を胸に刻む年末にしたいと考えます。

２０２３年（令和５年）がまもなく終わります。今年は昨年に引き続きウィズコロナで始まり、その後５類感染症への移行、秋からのインフルエンザの流行で終わった１年でした。いずれも終息したわけではなく現在進行中で気が抜けません。引き続き、感染予防・健康管理をお願いいたします。冬休みは、夏休みより短く２３日間ですが、年末年始、ご家族皆さんで「幸せな時間」を過ごされますことをお祈りしています。３学期のスタートは１月１８日（木）です。６年生は、３月１９日の卒業まで４２日間、在校生は修了まで４６日間の登校日数です。３学期は、学校全体が卒業（進学）・修了（進級）に向けて一体感をもって前進する２カ月になります。新しい年２０２４年（令和６年）が、子どもたちにとっても、私たち大人にとってもハッピーな１年になることを心の底から願っています。

クリスマス集会

12月15日（金）、クリスマス集会を行いました。この日を迎えるにあたり、縦割り班ごとにクリスマスツリーの飾りを準備しました。この集会は全校で楽しめるようにと、代表委員会が企画し運営を担当しました。

代表委員が弾くピアノに合わせ「あわてんぼうのサンタクロース」を全校で歌ったり、絵本の読み聞かせを楽しんだりする心温まる企画、縦割り班や全校での触れ合いを大切にするゲーム等たくさんの工夫がありました。おかげで体育館は、クリスマスの温かな雰囲気に包まれました。

感想では、「集会を企画してくれた代表委員会のみなさんありがとうございました。」と感謝の気持ちを伝えていた児童もいて、全校で豊かな時間を過ごすことができました。

〈クリスマス集会プログラム〉

1　はじめのあいさつ
2　児童会長あいさつ
3　クリスマスソング
4　クリスマスの絵本読み聞かせ
5　ツリーの飾り付け
6　レクリエーション
　〇命令ゲーム
　〇むかでじゃんけん
7　感想発表
8　児童会副会長あいさつ
9　おわりのあいさつ

3年社会科の学習

4月から社会科の学習を始めた３年生。学び始めの頃はどのような学習なのか不安がありましたが、今では自信をもって学んでいます。２学期は、学びを深めるための調査活動や見学学習の機会が多くありました。見学学習では、問題発見や問題解決能力の育成、コミュニケーション能力や社会的マナーの向上が図られます。また、人が働く現場を見ることができるため、キャリア教育の一環にもなります。

学習活動ごとに自信をつけ、社会科の見方や考え方が身に付いている３年生です。今後の成長に目が離せません。

4年総合的な学習の時間

役場産業課と姫川水土里（みどり）を保全する会の農家さんに協力いただき、春から探究してきた「お米ができるまで」がついに完結しました。6月の苗植え体験に始まり、9月の案山子づくりと稲刈り体験、そして今月には収穫したお米を炊きおにぎりを作りました。つやつや、ふっくらで美味しいおにぎりでした。12月13日（水）の収穫祭では、お世話になった方々や保護者の皆さんをお招きし、まとめ発表をしました。

デジタル・シティズンシップ教室

GIGAスクール構想によって子どもたちの手に端末が配布される中で、さまざまなリスクから子どもを守るための取組を行っています。これまでは「こんな危険があるよ！約束を守らないと危ないよ！」と、どちらかといえば抑制する教育を行ってきました。しかし、最近は「きちんと使い方を知った上でデジタル社会で自分の能力を発揮し、より良い社会を担っていきましょう」というデジタル・シティズンシップ教育への注目度が高まっています。

１２月８日（金）、GIGAスクールサポーターの山本氏を講師にお招きし、中学年と高学年においてデジタル・シティズンシップ教室を行いました。

中学年は「デジタルの手がかり」をテーマに、オンライン上に載せてもよい（共有してもよい）情報と載せるべきではない（共有すべきではない）情報を判断し行動することの大切さを知りました。高学年は「自分のパソコンを学びに使うとは」をテーマに、安心して楽しくパソコンを使うための約束が必要なことや、学校でパソコンを賢く使うにはどうしたらよいかを考えました。

メディア・コントロールのための約束づくり

2012年のクリスマス。アメリカで、母親が13歳の息子にスマホを与えるときに交わした「18の約束」が話題になりました（原題は「Gregory’ｓ iphone Contract」）。特に多くの親たちに支持された背景には、子どもにスマホを与えることへの不安の大きさがあると言えます。「18の約束」が話題になってから10年上が経ち、より一層スマホは大人だけではなく子どもの世界でも欠かせない存在になりました。この「18の約束」には親子でスマホをはじめとするメディアと上手に付き合うヒントが詰まっています。大事なことは、「子どもを信頼すること」「子どもに信頼されること」です。一方的ではなく一緒に約束を守っていくために、その内容をご紹介します。参考になさってください。

「スマホ１８の約束」

① このスマートフォンは、母が買い与え、料金も払っているものです。あなたに貸しているスマートフォンです。
② パスワードは、親が管理します。常に報告してください。
③ 電話はマナーを守って礼儀正しく、父や母からの電話には必ず出るように。
④ 学校がある平日は夜７時半、週末は夜９時になったら、親にスマホを引き渡すこと。夜の間は電源を切り、また朝７時半に電源を入れます。固定電話で、電話すべきではない時間に、メッセージやメール、電話で話すことはいけません。お互いの家族のプライバシーを尊重しましょう。
⑤ 学校に持って行ってはいけません。メッセージ、メールではなく直接対話しなさい。人との会話は大切なスキルです。
⑥ もし、水や地面に落として故障したり、なくしたりした時の修理や交換の費用はあなたがもちます。その費用は、自分で準備しなさい。
⑦ 人に対して嘘をつくこと、ばかにすること、あざむくことに使ってはいけません。たとえ誘われても、人のためになることを大切に考え、人を傷つけることには参加しません。
⑧ 面と向かって言えないことは、スマホを使い、メールなどで言わないこと。
⑨ 自分を見つめなさい。友達の親がいる前で言えないことは、メールでも言わないこと。
⑩ アダルトサイトは禁止。必要であれば、お父さんやお母さんに聞いてください。
⑪ あなたは礼儀正しい子です。それを崩さぬよう、公共の場では電源を切るか、音を切り、しまっておくこと。
⑫ 隠しておくべき自分のプライベートや、他人のプライベートの写真を送ったり、受け取ったりしないこと。あなたは賢い子ですが、そうするようにと誘惑されることがあるでしょう。こうした行為は、あなたのこれからの人生を台無しにする恐れがあります。巨大な力をもつネットワーク空間で、一度広まった悪い評判を消すことは困難だからです。
⑬ むやみやたらに写真やビデオを撮らないこと。あなたの経験は永遠にあなたの記憶に残るでしょう。
⑭ たまにはスマホやゲーム機を家において出かけましょう。携帯がなくても生きていけるようにしなさい。「みんながしていることを逃がすのではないか？」という恐れよりも強くなりなさい。
⑮ 様々な音楽と出会ってください。あなたの視野を広げてください。
⑯ ときどきは言葉のゲームやパズルや知能ゲームを解いて脳をきたえなさい。
⑰ 世界をあなたの目を通して見ましょう。検索する前に、考えることです。
⑱ あなたがミスを犯したなら、スマホを取り上げます。そして、最初から考え直していきましょう。問題はあなただけの問題ではなく、私達家族で答えを出していきましょう。

いじめ未然防止・早期発見・早期解決の取組

５月の１回目に続き、11月に２回目のいじめアンケートを行いました。今回の集計の結果、「今年４月から今日まで嫌な思いをしたことがある。」と答えた児童が２２名でした。

嫌な思いについては、「冷やかしやからかい、悪口を言われる」「たたかれる・けられる」「仲間外れ・無視」という事案がみられました。ついついやってしまったことが、「重大事態、いじめによって児童の生命、心身、または財産に重大な被害が認められる場合。また、いじめによって相当期間欠席している場合」につながらないよう、このアンケート結果を受け、各担任による丁寧な聞き取りをし対応しました。

今後も「いじめはどんなことがあっても決して許されない」と指導を継続していきます。

全教職員、いじめは「いつでも、どこでも、誰にでも」起こる問題として小さなことでも常に児童に寄り添い、「居心地のいい、居場所となる学校づくり」に努めて参ります。

人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

人権とは

人権とは、一人一人が生まれたときからもっている、「自分らしく生きる」権利のことです。

人権を大切にするということは「命を大切にすること」や「みんなと仲良くすること」です。

思いやりの心をもって、自分やお友達のよいところをたくさん見つけてみましょう。

（11月15日人権教室にて人権擁護委員の皆さまからいただいたメッセージより）

家読（うちどく）のすすめ

年末年始はお子さんとお出かけしたり、ゆったり過ごしたりする時間がもてると思います。ご家族で読書を楽しむことをおすすめします。書店や図書館で選書を楽しみ、少し照明を落として雰囲気を変えお家で読んだり、出先の落ち着いたカフェなどを利用してみたりはどうでしょうか。

最近では読書感想文を書くより、「ビブリオバトル」といって自分が読んだ本の紹介をしあい、「どの本が一番読みたくなったか」を参加者の多数決で決めるコミュニケーションゲームが注目されています。ご家族で「ビブリオバトル」は楽しそうです。お子さんに負けませんように！

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談
0120－3882－56
（無料、毎日24時間対応）

●メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください

センターWebページ

●来所相談
（10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。）
子ども相談支援センター
札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話相談で予約してください。

※　センターのWebページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。
URL:http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf

1月 主な予定

※毎月第1・第3日曜日はノーゲームデーです。家族団らんを！

日	曜	行　事
18	木	第3学期始業式　集団下校訓練 午前授業　給食なし
19	金	英検
22	月	おとべんきょう+
23	火	クラブ活動
24	水	マーチングオーディション　研修日
26	金	入学準備教室　漢検
29	月	おとべんきょう+
30	火	委員会活動
31	水	マーチング引継ぎ練習

■冬休み期間　12月26日（火）～1月17日（水）

■学校閉庁日　12月29日（金）～1月3日（水）

■第3学期始業式　1月18日（木）

■23日間の冬休みに入りますが、何かありましたら学校にご相談ください。子ども相談支援センターという窓口もあります。（左下をご覧ください）

■1月22日（月）～26日（金）の週、休み時間に火災を想定した「立ち止まり訓練」を行います。火災発生のベルが鳴ったら、子どもたちはその場ですぐ立ち止まり、しゃがんで静かに放送を聞きます。合い言葉は「くしゃみで身を守ろう～くちとじ・しゃがむ・みみすます」。出火場所等のアナウンスを聞き、自分の今いる場所からだと、避難経路や避難口はどこかを考えます。実際に避難場所へは向かわずに訓練は終了しますが、校舎内に配置されている先生方と振り返りを行います。自身の身を守るために適切な判断をし、必要な行動がとれるようにします。